

エック・パワーのロッド(権威を表す杖)の移譲



ECKopedia: The ECKANKAR Lexicon より抜粋

スリ・ハロルド・クレンプ 著

スグマドのみにより授けられる古くから続くイニシエーションでは、**退任するマハンタ**であるリビング・エック・マスターは、**後継者(12サークル以上のイニシエート)**を指名し、エック・パワーのロッドは、その人に移譲されます。

10月22日

この儀式は、ヤブル・サカビが管理し、伝統的に10月22日になる真夜中に、カツパリ僧院近くのシャンタ渓谷にあるティルマーの神託で行われます。

すべてのエック・マスターは、シャンタの渓谷に集まり、退任するマスターがエック・パワーのロッドを後継者に渡すのを見届け、そして後継者を迎えます。

そのまわりには、そこにいる必要がある様々なレベルのエックのイニシエートが集まります。

儀式の前に、**スピリチュアルな聖職者達はスグマドの意志を反映し、ヴァイラギの達人たちの中で、誰が次期リビング・エック・マスターになるのが最もふさわしいかを決定します。**すべてのエック・マスターは候補者のスピリチュアルな学びに深い関心を抱いて来ましたが、現在のリビング・エック・マスターが修練の最終段階を担当します。

新しいリビング・エック・マスターは、その使命を受け入れたうえで、最高のレベルで表現された崇高なエック、原初から存在する**マハンタ**の主要な媒体としてヴァイラギの達人たちから認められます。彼の指示は、生命の源そのものから直接もたらされます。今後の彼の行動は、大きな規模で、**スグマド**の意志により決定されます。

エック・パワーのロッドの移譲は、彼の中のマクロ・コスモス(大宇宙)とマイクロ・コスモス(小宇宙)の融合なのです。

スピリチュアルな指導者の変更は、常に世界の意志にとっての前進となります。

エック・パワーのロッド(権力を表す杖)

エック・パワーのロッドは、リビング・エック・マスターのスピリチュアルな笏(王権象徴の杖)です。

それは、目で見たり、触れたりできる物体ではなく、**神の創造物を維持するためにリビング・エック・マスターを通してもたらされるエックの力**です。

それは、音と光、**スグマド**によって授けられる神の言葉のパワーが集まったものであり、リビング・エック・マスターを通して機能し、彼とは切り離すことができないものなのです。

エック・パワーのロッドには、すべてを見通し、すべてを知る視力と、**マハンタ**意識のパワーが伴います。**リビング・エック・マスターがエック・パワーのロッドを保持している限り、彼はすべての世界におけるスグマドの最高位の代理人**なのです。



内的なマスターと外的なマスター



ECKlopedia: The ECKANKAR Lexicon より抜粋

スリ・ハロルド・クレンプ

内的なマスターと外的なマスターは、**リビング・エック・マスターであるマハンタの一つの存在の2つの異なる側面**です。

外的なマスターの役割は、現代の人々のスピリチュアルな必要性和意識に合わせて利用できるように、光と音の神聖な教えを維持することです。

内的なマスターは、音と光が融合したものであり、すべての愛の最高の形態であり、リビング・エック・マスターの内なる形態なのです。

内なるマスターである、**マハンタ**は、各々のスピリチュアルな必要性にぴったり合うように道を形作ります。これは夢の教え、内なる導き、ソウル・トラベル、そしてスピリチュアルな観想を通じて行われます。内的なマスターは**聖霊そのもの**なのです。